

5/12 取場集会開催

# 佐倉支部 不当処分粉碎・ 組織強化拡大へ 着々と前進!



80.5.16  
NO.429

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電二三五八九・公衆電話(22)七二〇七)

\*\*\*\*\*

佐倉支部は、三・三一結成大会以降、着実に進んできた。組織的進歩をかねて、堅実に組織的進歩をかちとっている。執行部と組合員は、一年間に及ぶ組織労働者としての進むべき道を互いに考え、悩み、討論し決定してきた苦闘の過程を共有しているがゆえに相互信頼と団結力は強靱だ。四・一五八〇春闘勝利動力千葉決起集会には、動力「本部」反動分子のスト破り津田沼襲撃をのりこえ六十名が結集し、自らの職場へ籠城し断固闘い抜いたのである。そして、運転事故に対する乗務員の防衛措置や、その対策及び、日常的職場課題のとりくみ等を全力でやりきっている。一方、佐倉支部の組織的進歩という現実には、自らの「再建願望」の夢が次々と破れ、焦った動力「本部」反動分子がやったことといえ、尻込みする極一部の裏切り分子を使つての「佐倉を良くする会連絡事務」なる卑劣な組織破壊攻撃である。しかしこれも賢明な佐倉支部組合員には通用せず、逆に動力千葉全支部の怒りをかうものにしすぎないでいる。こうしたなかで佐倉支部は、五月十二日不当処分粉碎職場集会を開催した。

\*\*\*\*\*

### 職場集会の成功をバネに 21日支部青年部結集総会へ

十日開催された結成一周年記念ボーリング大会の準備支部として立派にやりとげた力をもって職場集会が五十名の結集をもって開催された。

あいさつにたった堀口支部長は、「動力「本部」反動分子の『四・一五』を口実とした動力千葉への弾圧処分要請を利用した国鉄当局の不当処分策動は、三里塚・反合を闘うわれわれへの重大な挑戦である。全組合員の総決起・総行動と五・一七↓五・二五三里塚結集の力をもって粉碎しよう」との力強い決意と当面する行動方針が提起された。

動力千葉西森副委員長は「国鉄当局の『本部』反動分子と結託した処分策動は、三十五万人体制合理化をエサにした動力「本部」と当局のゆ着とその必然性にある。こうした汚ない処分を粉碎するためには「がんばろう」と提起し、全参加者が改めて処分粉碎にむけ決起することを確認した。

この集会の成功をバネに、佐倉支部は、二十一日青年部結成総会をかちとるべく奮闘している。

## 動力千葉結成一周年記念 ボーリング大会 盛大に開催さる!



動力千葉結成一周年記念行事の一環としての第一回ボーリング大会が去る五月十日十時より、佐倉パークレインにおいて全支部から九十四名の組合員が参加し盛大に開催された。

個人戦・団体戦の結果は、次のとおりです。

団体戦 (15チーム)	優勝 幕張支部 (Aチーム) 一〇七八点 (宇田川・近藤・永島組)
準優勝 勝浦支部 (Aチーム) 一〇七〇点 (丸・君塚・市原組)	
第三位 蘇我支部 九六一點 (高師・益川・椿組)	
個人戦 (八十六名参加)	
四十歳以上	
優勝 丸幸一 (勝浦) 五八四點	
準優勝 角田千代子 (新小岩) 五一六點	
第三位 坂下健宣 (〃) 四八九點	
第四位 高師薫 (蘇我) 四七八點	
第五位 平山光夫 (佐倉) 四七六點	
三十九歳以下	
優勝 角河英敏 (津田沼) 五七〇點	
準優勝 鈴木昭司 (勝浦) 五五八點	
第三位 市原博司 (〃) 五三九點	
第四位 内田義光 (佐倉) 五三五點	
第五位 小倉邦夫 (津田沼) 五二六點	
HG賞 (四十歳以上)	
丸幸一 (勝浦) 二四四點	
(三十九歳以下)	
角河英敏 (津田沼) 二二四點	
B・B賞 (四十歳以上)	
藤崎武雄 (佐倉) (三十九歳以下)	
本橋秀一 (津田沼)	
当日賞 (四十歳以上)	
平川和彦 (佐倉)	
(三十九歳以下)	
佐藤敬一 (勝浦)	

## 五月総決起 総行動で不当処分粉碎へ!

5.17 新組合結成 講演集会  
一周年記念

5.25 三里塚大集会